令和元年度~令和3年度 大学研究者による事業提案事業による 試行結果について

1. 実施状況

平成30年度の『大学研究者による事業提案制度』(財務局)にて、東京大学から提案され採択された『インフラ運営の透明化に向けた I C T・A I を活用した市民協働システム』について、令和2年2月から令和4年3月末(予定)までの約2年間の試行を実施しました。

◆道路通報システム

My City Report for Citizens (MCR)



スマホアプリマイシティレポート

都民がスマートフォンを活用し、 写真と位置情報とともに道路 の損傷や不具合を通報

◆試行エリア (令和4年2月時点)



【全都道エリア(島しょ部を除く)うち11区市道でも実施】

千代田区、港区、品川区、葛飾区、八王子市、国分寺市、国立市、福生市、武蔵村山市、多摩市、稲城市

2. 「こまったレポート」投稿事例

本システムでは、「こまったレポート」と「かいけつレポート」 2 種類の投稿が可能です。 「こまったレポート」は、道路の穴や街灯の不点灯など、道路の損傷や不具合を投稿していた だくものです。投稿いただいたレポートに基づき、東京都で確認・対応をいたします。

利用者からいただいた「こまったレポート」投稿事例



街灯の不点灯を ご報告いただき ました。



(近景写真)



(遠景写真)

街灯の管理番号が分かる近景と、場所や 状況が分かる遠景の両方の写真を添付し ていただきました。写真が分かりやすく、 すぐに対象が確認できてました。

都の完了報告



補修が完了したことを、 アプリで報告させていた だきました。

3. 「かいけつレポート」投稿事例

「かいけつレポート」は、道路上の落ち葉やごみなどを自分で片付けるなど、道路の「こまった」について、都民の皆さん自ら「かいけつ」したものを投稿していただくものです。

利用者からいただいた「かいけつレポート」投稿事例



ごみ拾い活動の 報告をしていた だきました。



(対応前写真)



(対応後写真)

投稿では、ごみが落ちている対応前の 状況写真と、ごみを片付けて頂いた対 応後の写真を添付していただきました。

都からの返事



まちの問題解決にご協力 頂いたことを、感謝させ ていただきました。

4. 試行結果(令和4年2月末現在)

- (1)投稿件数 約1,605件(都、及び区市累計) うち、東京都は、398件
- (2)利用者数約1,633人(都、及び区市累計)
- (3) 「時間帯別」投稿割合(都道)
 - ① 平日9時半~17時 約25% ※1
 - ② 平日①の時間外 約41%
 - ③ 土日・祝日 約34%
 - ※1 都道の電話相談窓口(道の相談室)の 対応時間帯におけるMCRの投稿割合

今回の試行では、②(平日の時間外)と、③(土日、祝日)の投稿を合わせると、全体の約75%でした。 平日の昼間になかなか連絡できない方でも通報できるツールとして利用され、通報機会の拡大に繋がりました。

(4) 「対象別」投稿割合(都道)

- ① 歩道 約64%
- ② 車道 約29%
- ③ その他(歩道橋、通路等)約7%

対象別の投稿件数としては歩道の投稿が一番多く、車道 の場合でも横断歩道など、歩行者目線で投稿されるケース が多くありました。

道路巡回だけでは気付きにくかった投稿も頂き、迅速に 道路の補修を実施することで、道路の安全性がさらに高ま りました。

(5)「道路通報システム」の利用について

この「道路通報システム」の仕組みについてどう思うか、 利用者を対象にアンケートを実施し、「良い仕組み」であ るとの回答を多くいただきました。

